

会社説明会資料

株式会社 やまねメディカル

2009年2月

説明のポイント

I. 会社概要

- ①直営通所介護事業に特化して事業展開する若い企業
- ②高齢者福祉の向上と介護サービス基盤の整備を目的に事業展開
- ③「価値創造経営」が経営方針

II. 通所介護事業の概況

- ①通所介護事業のマーケット規模は拡大傾向
- ②「マーケティング」「イノベーション」「生産性の向上」への取り組みで成果
- ③通所介護サービスは高齢化社会に必要不可欠な人権支援活動
- ④雇用の創出にも貢献

III. 2008年度第3四半期業績の概況

- ①順調（増収増益）
- ②業界をリードする高い収益力と成長性を実現
- ③健全な財務基盤を確立

IV. 2008年度業績予想と今後の課題

- ①増収増益の予定（業績予想に変更はなし）
- ②今月までの今期新設は11施設（直営施設は55→66施設へ増加）

V. 報酬改定の影響について

- ①介護業界全般には業績の改善が期待できる？
- ②当社には実質マイナス改定か？

VI. 資本政策と配当について

プログラム

I. 会社概要

II. 通所介護事業の概況

III. 2008年度第3四半期業績の概況

IV. 2008年度業績予想と今後の課題

V. 報酬改定の影響について

VI. 資本政策と配当について

I . 会社概要説明

1) 会社概要

設立 2002年6月
(第1号施設開設2002年9月)
所在地 東京都中央区日本橋3-3-9
代表者 山根洋一
資本金 304,375千円
事業内容 通所介護事業
(ブランド名:「デイサービスセンターなごやか」)



営業収入 3,891百万円 (2008年3月期)
経常利益 622百万円 (2008年3月期)
従業員数 873名 (正社員457名)
(2008年12月31日現在)

直営通所介護施設数 66施設
(2009年2月1日現在)

営業収入構成比
99%以上が直営通所介護事業

2) 経営陣の略歴

代表取締役社長 山根洋一 大阪大学医学部卒
医師・医学博士

1996.5 やまね内科開業
1999.4 医療法人医仁会設立、理事長
2002.6 有限会社やまねメディカル設立、取締役
2003.5 株式会社に組織変更、代表取締役

取締役副社長 西村功 京都大学経済学部卒
京都大学講師(S55-H10)

1981.11 住友銀行常務取締役
1985.6 住友ビジネスコンサルティング代表取締役会長
1989.12 日本総合研究所代表取締役副会長
2002.6 住友重機械工業取締役(非常勤)
2005.8 当社入社
2005.9 取締役
2006.9 取締役管理部長
2007.6 取締役副社長

取締役事業部長 中村仁 明治大学経営学部卒

1992.1 生協コープかながわ大型店事業部長
1994.1 同社店舗運営部長
2004.6 当社入社
2006.8 事業部長
2006.12 取締役事業部長

取締役 大津賀傳祐 東京大学経済学部卒

1993.6 日本信託銀行取締役
1998.5 日本信託銀行常務取締役
2003.6 エヌティーエイジェンシー社長
2006.4 当社入社、相談役
2006.8 取締役

監査役 森本晴壽 中央大学法学部卒

1997.6 三井木材工業取締役
2001.10 ニチハマテックス常務取締役
2005.9 当社入社、人事部長
2006.6 監査役

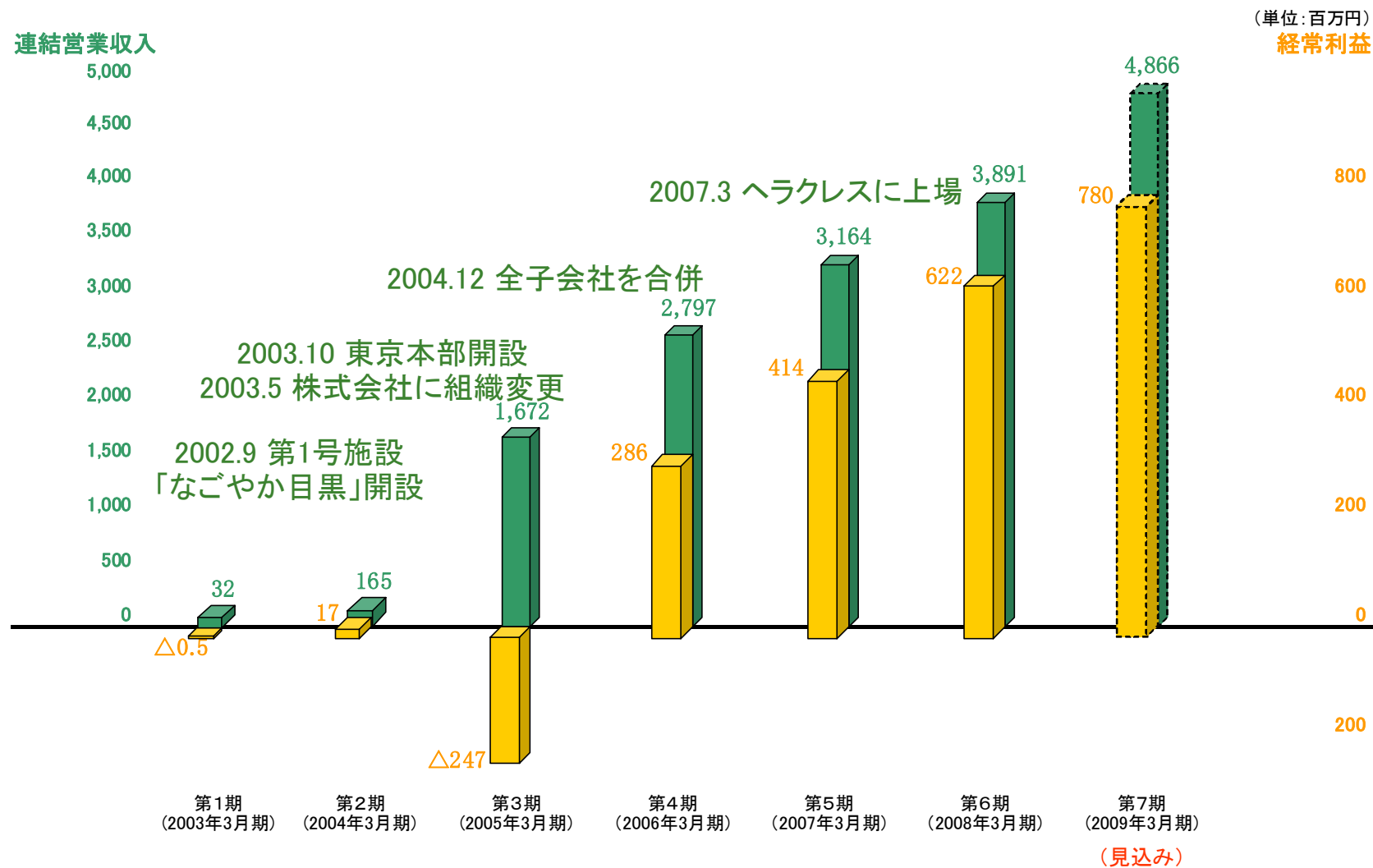
監査役 坂本英夫 慶応義塾大学商学部卒

1993.9 興人本社監査室長
1998.4 シーアンドエス取締役管理部長
2000.7 ゼクス管理部長
2005.5 同社常勤顧問
2007.6 当社監査役

監査役 太田建夫 東京大学法学部卒

1998.4 住友建設検査役
2003.4 三井住友建設監査部長
2005.6 同社監査役
2006.6 当社監査役

3) 会社の沿革



4) 事業活動の目的

1. 身体的・精神的機能が低下・喪失した高齢者の「福祉」の向上（「社会権」、「生存権」等基本的人権の支援）を、通所介護サービスの提供によって推進する。

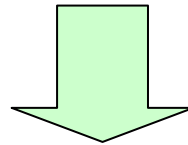
（高齢者が社会の中で「よりよく生きる」、「人間らしく生きる」ことの支援。）

2. 介護サービスの不足地域でも、高品質の介護サービスが受けられるようにサービス基盤を整備・充実する。

（事業活動開始当時は量的整備が重要であったが、現在では質的整備に重心がシフトしている。）

5) 当社の経営方針

「価値創造経営」の実践

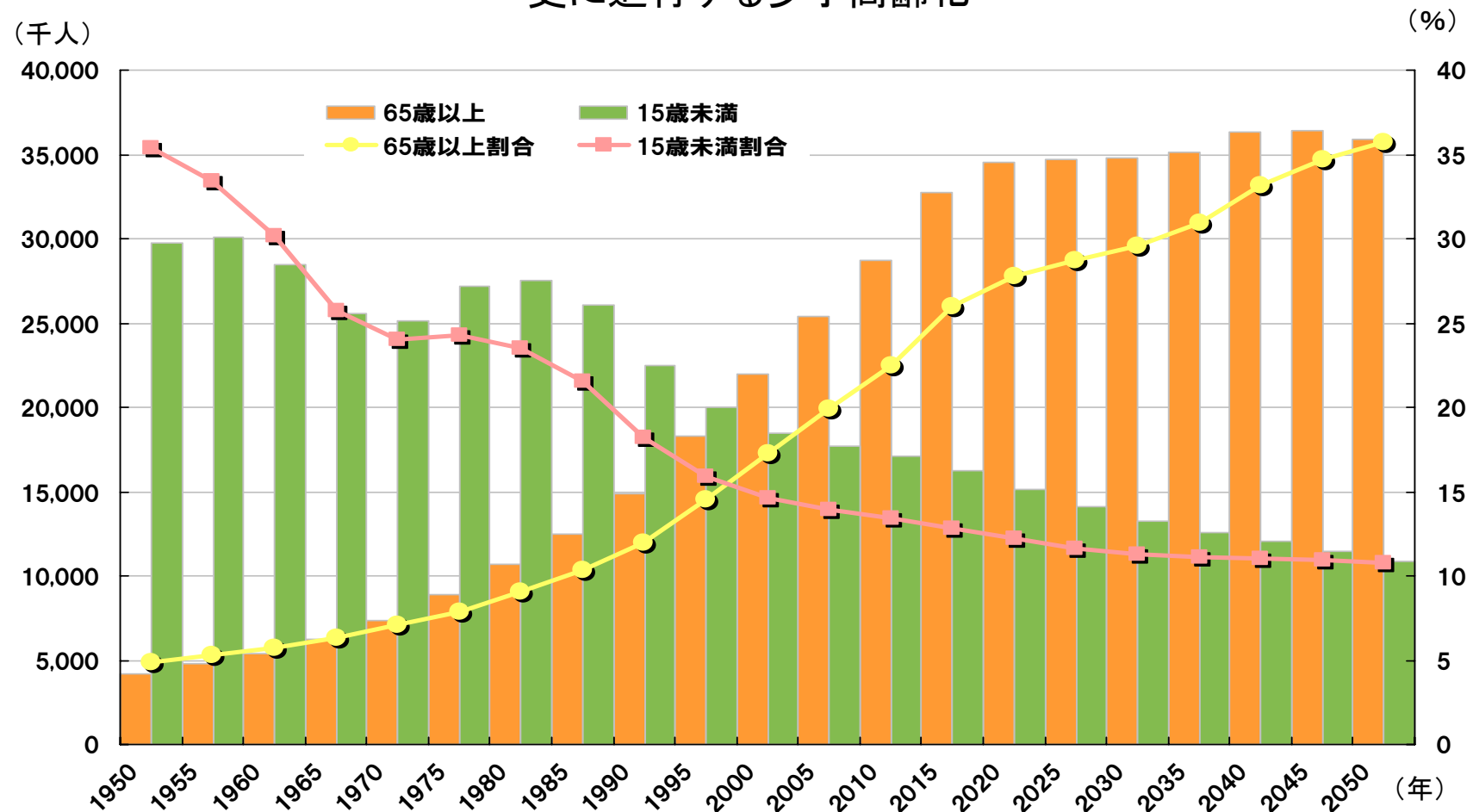


1. 「価値創造」の社会機関として、
多様なステークホルダーへ価値を提供する。
2. 「経済的価値」と「社会的価値」を統合することで、
「企業価値」を最大化する。
3. 利益を「価値創造」のコストととらえて、
「価値創造」の永続的な連鎖を実現する。
4. 「価値創造」を行動の基準とした、
堅実で健全な「成長」を実現する。

Ⅱ. 通所介護事業の概況

1) 高齢化人口の急速な増加

更に進行する少子高齢化



出所: 2000年までは総務省「国勢調査」、2005年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」

2) 介護保険の創設とその精神

☆介護保険法(2000年4月より施行)

第一条(目的)

この法律は、加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病等により要介護状態となり、入浴、排せつ、食事等の介護、機能訓練並びに看護及び療養上の管理その他の医療を要する者等について、これらの者が**尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう**、必要な保健医療サービス及び福祉サービスに係る給付を行うため、**国民の共同連帯の理念に基づき**介護保険制度を設け、その行う保険給付等に関して必要な事項を定め、**もって国民の保健医療の向上及び福祉の増進を図る**ことを目的とする。

☆介護保険法を支える精神(「尊厳の保持」と「自立支援」)

高齢者の社会権、生存権の確立

☆制度の継続性の確保(財源は有限)

競争原理の導入



生産性の向上



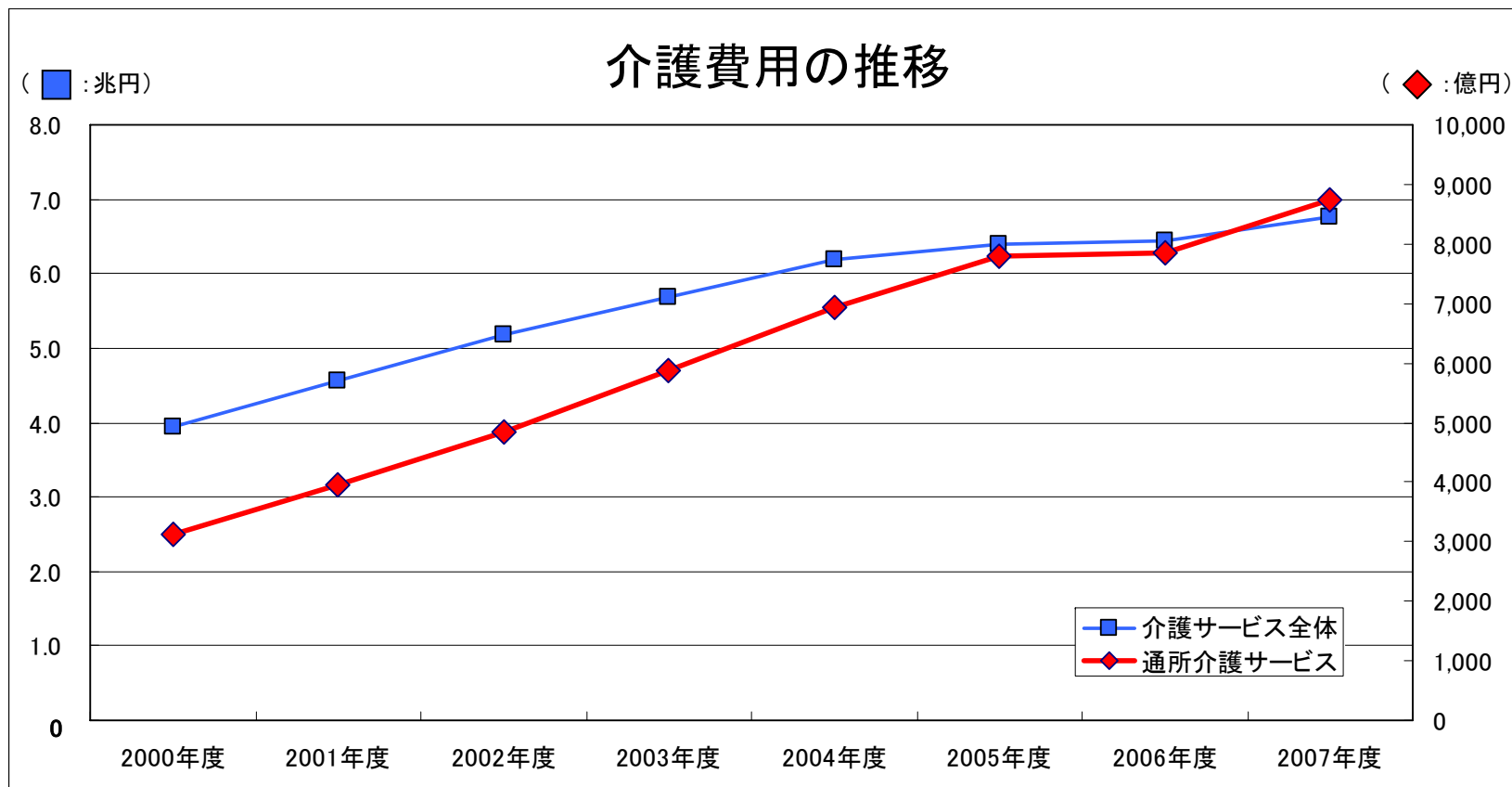
財政負担の軽減

(資本市場のしくみの導入や営利企業参入の目的は介護産業の生産性の向上)

3) 介護サービスの種類

居宅(在宅)介護サービス	地域密着型サービス	施設介護サービス
訪問介護	グループホーム	特別養護老人ホーム
通所介護	小規模多機能型居宅介護 など	老人保健施設
ショートステイ など		療養型病床群 など

4) 通所介護事業のマーケットの推移



- ① 介護保険開始から7年で通所介護マーケットの規模は約3倍(約8700億円)
- ② 介護サービス全体の約13%を占有
- ③ マーケットは拡大トレンド

出所: 国民健康保険中央会統計資料

5) 通所介護サービスの概要

デイサービスセンターなごやかの日



9:00~ 検視



10:00~ 健康チェック・機能訓練

12:00~ 昼食

午前・午後の時間に
入浴できます！



13:00~ レクリエーション



15:30~ カラオケ



16:00~ 送迎

サービス内容

- 自宅までのドアtoドア送迎
- 健康チェック
- 食事、入浴サービス
- レクリエーション
- 機能訓練
- 介護予防

なごやかグループ サービス理念



ご利用者様の満足とQOLの向上のための
ベストサービスを提供いたします

1. 介護を必要とするご利用者様とご家族の方々にご満足頂ける介護サービスを提供いたします。
2. 毎日の生活がより豊かなものになるように、また、日常介護に携わる方々の負担が軽減するように、介護サービスの提供を通じてご利用者様方を応援いたします。
3. 「S・S・V・C」(サービス・安全・付加価値・清潔)の向上に努め、ベストサービスを提供いたします。

6) 基本的事業戦略

1. マーケティング
2. イノベーション
3. 生産性の向上

7) サービス提供の様子(施設の様子)



サービス提供の様子（機能訓練と口腔ケア）



サービス提供の様子(レクリエーション)



サービス提供の様子(コミュニティの中で、個人の尊厳)



サービス提供の様子(社会との絆、施設運営)



11) 事業の社会的使命

高品質の通所介護サービスの提供を通じて、
豊かな高齢化社会の創造に貢献する
(高齢者が「よりよく生きる」、「人間らしく生きる」ことを支援)



Ⅲ. 2008年度第3四半期業績の概況

1) 第3四半期業績概況

(単位: 百万円)

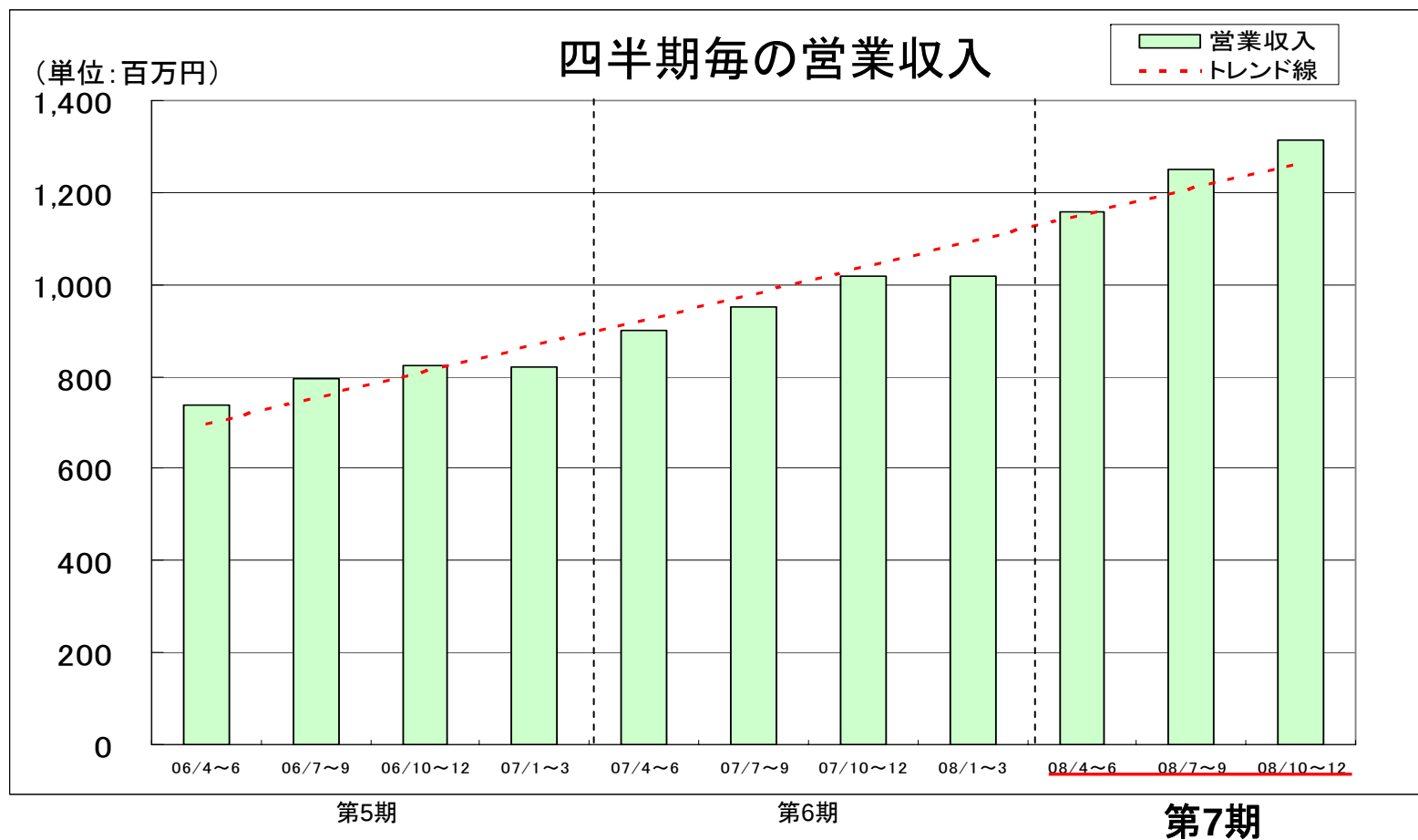
	2007年度(第6期)	2008年度(第7期)	前年比
営業収入	2,872	3,723	130%
営業利益	519	688	133%
営業利益率	18.1%	18.5%	
経常利益	503	679	135%
経常利益率	17.5%	18.3%	



業績は順調に推移

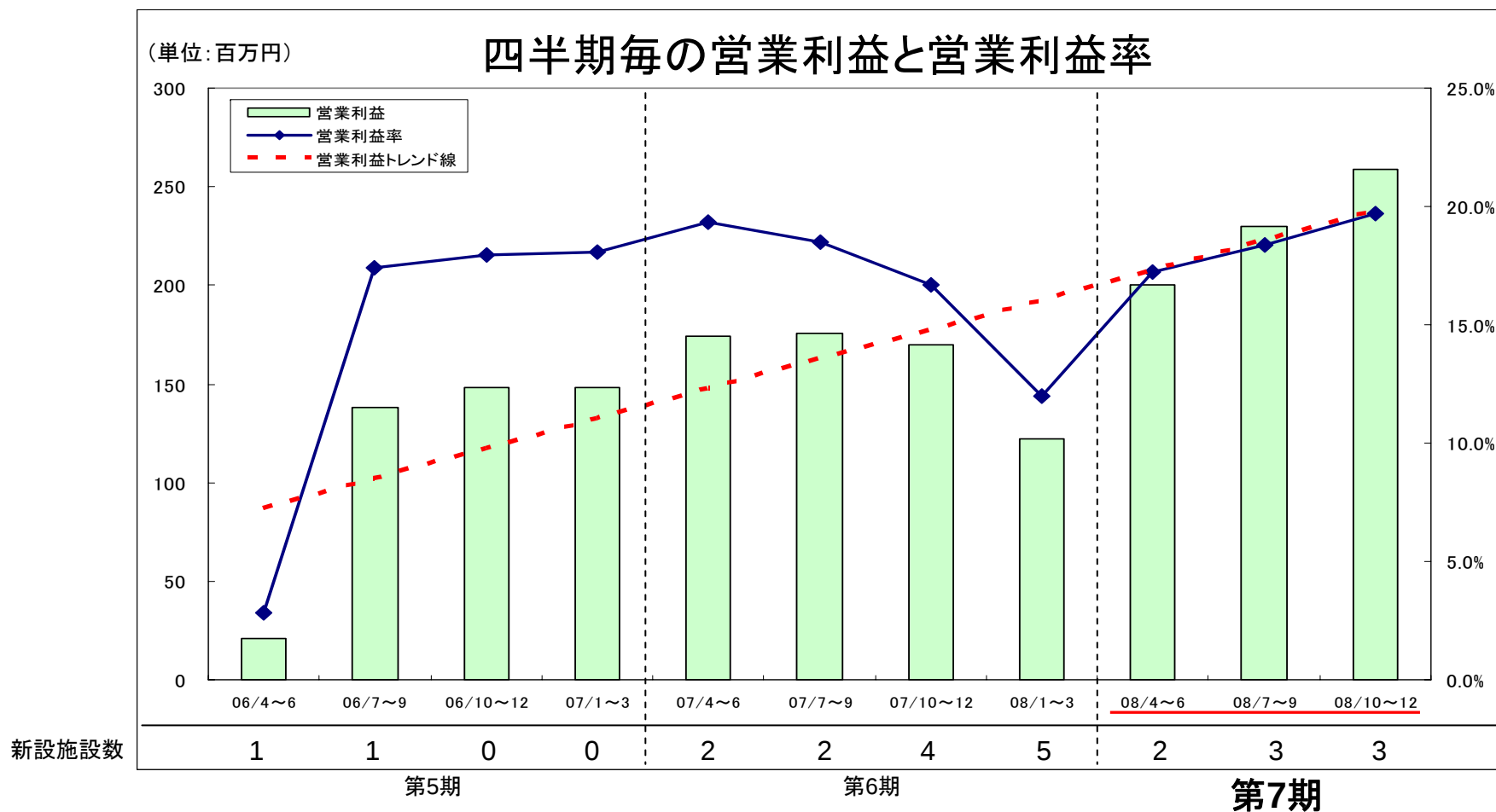
2) 業績の分析

① 営業収入の四半期毎の推移



営業収入は順調に増加

②営業利益と営業利益率の四半期毎の推移



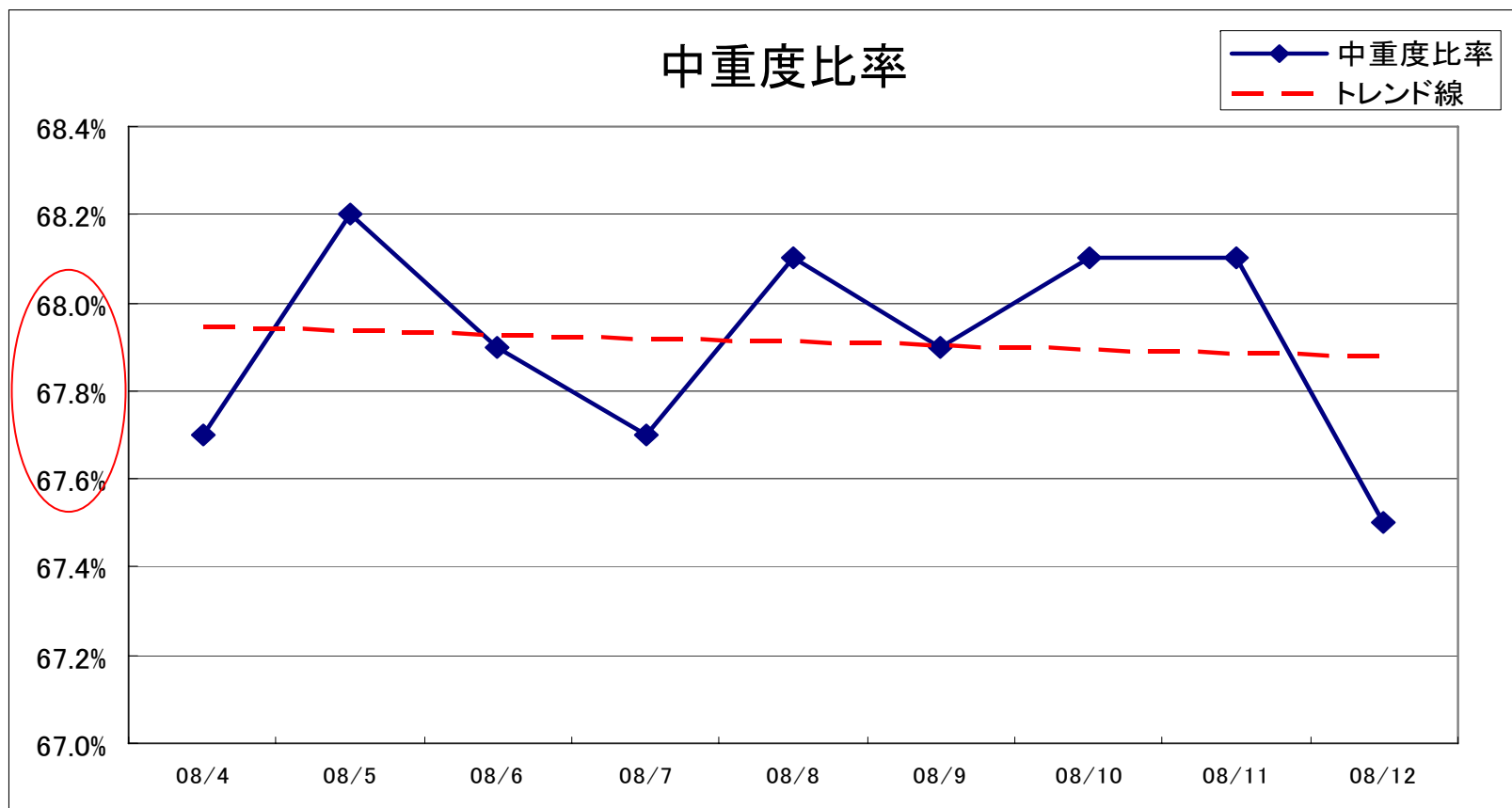
①営業利益は順調に増加

②今第3四半期の営業利益率は約20%

③稼働人数と介護客単価の推移



④要介護中重度利用者の構成比率の推移

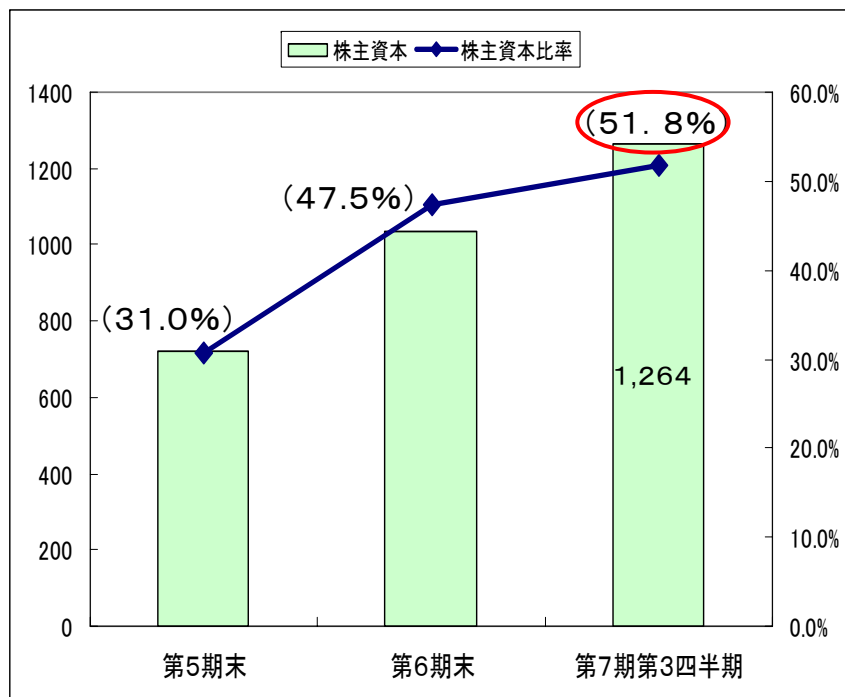


中重度比率は68%程度で推移

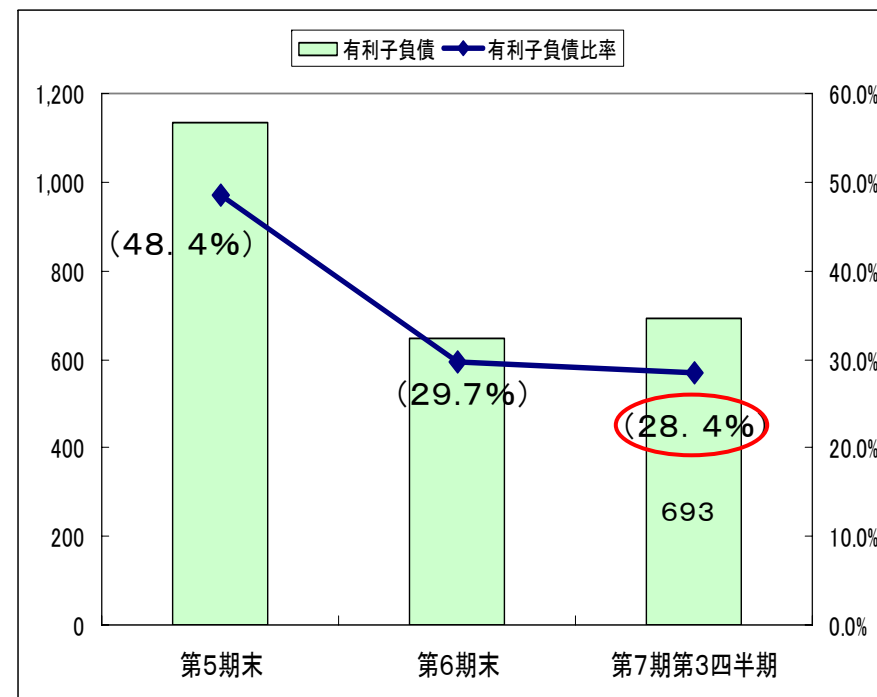
(注: 要介護中重度を要介護2～要介護5と定義)

⑤株主資本と有利子負債の状況

(単位: 百万円) 株主資本



(単位: 百万円) 有利子負債



財務基盤は健全（株主資本比率は51.8%、有利子負債比率28.4%）

IV. 2008年度業績予想と課題

1) 2008年度業績予想概要

(単位: 百万円)

	2007年度(第6期)		2008年度(第7期)	
		前年比		前年比
営業収入	3,891	123%	4,866	125%
営業利益	642	131%	794	124%
経常利益	622	141%	780	125%
当期純利益	347	166%	429	124%



当初の発表から変更なし

2) リスク対策とCSRへの取り組み

1) リスクマネジメント委員会の設置

- 安全運営推進部会
- コンプライアンス部会
- 災害対策部会(地震、新型インフルエンザ等)
- 行政リスク対応部会

以上の4部会を中心にリスクマネジメントを推進

2) CSR委員会の設置

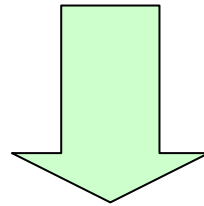
CSR憲章の制定

活動内容をHPへ掲載

V. 報酬改定の影響について

報酬改定の影響について

- 1) 全体として約3%の報酬引き上げとの報道
- 2) 当社に関しては、実質マイナスか？



引き続き生産性の向上による
業績の伸長に取り組む

(介護保険開始以降一貫してマイナス改定が続いているが、
当社は「国家運営健全化への必要な協力」と認識！)

VI. 資本政策と配当について

I) 自社株買いの推進

- | | |
|---------------------|--------|
| 1) 2008.5.15～6.27 | 232株 |
| 2) 2008.8.15～9.26 | 190株 |
| 3) 2008.11.12～12.22 | 1,283株 |
| 4) 2009.2.5～3.24 | |

(2009.1月末日現在、自社株2,025株(約1.8%))

II) 配当政策

今期配当は、1株あたり1,000円の予定(変更なし)

→ 資金需要によっては、減配もありうる

参考) 社員持株会、役員累積投資制度の発足

- 本資料は、当社の企業概要と我が国において一般に公正妥当と認められた会計原則に基づき作成された公表済の決算並びに今後の予想業績に関する情報の提供と当社の会社説明を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。
- 本資料は将来の予測等に関する情報を含みますが、これらの情報はあくまで当社の予測であり、その時々状況により変更を余儀なくされることがあります。なお、変更があった場合でも当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。
- 本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社やまねメディカルに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。